

 お知らせ

寒さ厳しき折、体調維持には何かと御苦労されている事と存じます。ガイドやショートにお迎えにあがると「ごめんなさい。今日はやめておきます。」という事も、近頃かさなっていました。皆様の集うショートでは感染予防も重要なテーマです。

従来から日々の清掃には、ノロウイルス対策の為、次亜塩素酸ナトリウム配合の薬剤を使用しております。(時に、ゲストの方の衣類に付着してしまい色落ちの原因にもなり、申し訳なく思っている次第です。)

又、室内、備品、送迎用車両車内、そして手指等の殺菌・消毒のためにはアルコールを使用しておりますが、万一、口中に入っても危険の少ないように食品添加物として使用できるタイプにしております。

更に、手洗い・食器洗い後の拭きあげも布タオルを使いますと、何度も使う事で再汚染の可能性がありますので、全てペーパータオルでシングルユースとしております。他に、居室内での空気感染を防ぐためには、空気清浄機(プラズマクラスター)を設置してきました。しかし、インフルエンザ対策には、湿度管理(50~60%が適切)も重要であると改めて認識し、1/28(金)に加湿器を追加設置いたしました。

と、申しますのも、1/28(金)に職員1名、そしてゲスト1名の計2名が、在所中にインフルエンザA型を発症いたしました。

発熱を確認した時点で、即座に退所・通院(判定)・室内消毒・・・他ゲストの方々の早期退所、又はご利用受け入れ中止などの対応を取らせて頂きました。

ご利用中、又はご利用予定の方々にはご迷惑をおかけして真に申し訳ありませんでした。しかし、感染拡大を防ぐためには必要な事とご理解頂ければ幸いです。

季節柄、まだまだインフルエンザの流行は続くものと予想されます。手洗い・うがい・換気なども予防には重要と認識しておりますが、ショートという場面柄それらが難しい事もあり、前述の薬剤や機械に頼らざるをえない実情もあわせてご理解頂きたいです。

以上、ご承知の程、宜しくお願い申し上げます。

まえほ
つうしん
前穂通信

発行日	2011年2月1日
発行元	自立センター前穂 〒569-1022 高槻市日吉台 1番町21-18 072-689-8600



 連作「きょうだいの思い出」② 「記憶」

幼児期の弟との思い出は残っていない。私と遊ぶこともほとんどなかった。弟との思い出は残っていないが、私の思い出は残っている。私が病院へ行かなければならなかった時に、弟から目が離せない母は私を一人で病院に行かせた。

外出している母と弟と待ち合わせをするために、当時住んでいた家から河原町まで電車に乗って、一人で出かけたこともあった。

このような状況に対して我慢をしていた訳ではないが、やはり寂しかったり心細かったりした。でも30年以上にもなる昔は、現在のように公的なサービスもなく、頼れる人や場所もないがゆえに、母はその時その場面をやりくりして切り抜けていったのだろうと思う。

一時も目が離せない弟と、幼児期の私を育てるのは大変だっただろう。

私も二人の子供を持って、しみじみと感じた。

